
NEWS RELEASE

デジタルガレージ、ミニブログを手がける米 Twitter 社に追加出資 日本での普及を推進するとともに企業プロモーションへの利用を積極支援へ

株式会社デジタルガレージ(JASDAQ 4819、本社:東京都渋谷区、代表取締役/グループ CEO:林 郁)は、全額出資子会社で投資・育成事業を手がける株式会社 DG インキュベーション(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:南 一哉、以下:DGI)を通じ、「つぶやき」を投稿し合うミニブログ・サービス「Twitter」を運営する米 Twitter 社(米国サンフランシスコ、CEO:エバン・ウィリアムス)に追加出資いたしました。DGIによる Twitter 社への出資は、2008年1月、6月に続き3度目に当たります。

「Twitter」は、オバマ米国大統領が選挙活動に利用したことなどが追い風となり、米 Nielsen Online の調べでは、2009年2月の時点で利用者が前年同月に比べて1382%増え、約700万人が日常的に利用するなど急成長しています。2009年1月に米国ニューヨークで発生した旅客機の不時着事故では、ニュースの現場の様子をいち早く伝えたメディアとしても注目されました。なお、Twitter 社は2009年2月に、米国の大手ベンチャーキャピタルである Benchmark 社と Institutional Venture Partners 社から新たに投資を受けることを明らかにしています。

DG は、DGI による今回の追加出資を契機に、日本における「Twitter」の普及に向けた支援体制を強化します。2008年4月に公開した「Twitter」日本語版の運営について Twitter 社に引き続き協力するほか、2008年11月に立ち上げた「Twitter」を利用してコミュニティーを作成する「Twicco」(ついつこ)に加え、2009年第2四半期には「Twitter」やその連携サービスに関する最新情報を集約したサイトを立ち上げる予定です。

また、「Twitter」日本語版の広告販売を担当してきた DG の子会社である株式会社 CGM マーケティング(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:林 郁)は、Twitter 社との契約を今回更新いたしました。今後は「Twitter」日本語版に掲載するバナー広告を起点とした、ロコミによる企業プロモーションの提案などを通じ、マーケティングツールとしての「Twitter」の利用を日本国内で推進していきます。

「Twitter」について

「Twitter」は「What are you doing?」(いまなにしている?)というシンプルな問いかけに140文字以内で答えることによって、さまざまなユーザー同士がつながるコミュニケーション・ツールです。投稿したメッセージは、自分を「フォロー」しているユーザーにリアルタイムで届きます。日常的ななにげないやりとりから、企業によるプロモーションへの活用に至るまで、「Twitter」の使い方はさまざまです。メッセージのやりとりには、Web サイトだけでなく、パソコンで動く各種の専用のクライアント・ソフトウェアや、携帯電話を使えるなど、コミュニケーション・ツールとして自由度が高いという特徴があります。